

令和5年度 がん教育等外部講師連携支援事業 「がん教育外部講師派遣」 報告書

学校等名 佐世保市立祇園中学校

担当者名 内野 舞

電 話 0956-24-8686

F A X 0956-24-8659

実施日 令和5年11月6日(月) 10:00 ~ 13:00

場 所 佐世保市立祇園中学校 体育館

講座名 がん教育講演会 「がんについて正しく知ろう ~命の大切さを考える~」

講 師 みさかえの園あゆみの家 副施設長 岡田 雅彦 氏

近隣校 案内先: 潮見小学校・木風小学校・祇園小学校・山手小学校・小佐世保小学校・
白南風小学校・九文小中学校・宇久小学校・山澄中学校・宇久中学校
計 10 校

参加者	児童・生徒	学校職員	保護者	他校職員等	その他
	全学年 (380)人	(25)人	(6)人	(3)人	()人 総計(414)人

テーマと内容
 テーマ 「がんについて正しく知ろう ~命の大切さを考える」
 前半:がんとはどのような病気かを知る。がんの予防には何をすればよいか。がん検診の大切さ。
 後半:がんになった人の気持ちについて考える。いのちを大事にするとは。自立について考える。

<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果>

- ・がんは2人に1人になるといわれており、誰でもなる可能性がある。生活習慣を良くすることでその可能性を半減できる。
 - ・がんが小さいうちは症状が出にくい、小さいうちに見つけると95%は治る。(早期発見と検診の重要性)
 - ・自分の病気のことを知り、最もよい治療法を自分で選ぶことが大事。「体の痛み」と「心の痛み」への支援。
 - ・自分が生きる意味とは、リダンダンシー(代わりになるもの)がきかないところにある。
 - ・「自立」とは、不特定多数の人に支えられて立つこと。「迷惑」ではなく、支えられることがあってもいい。ある時は人を支え、ある時は人から支えられる、それが自然にできる社会をつくりたい。
- 生徒だけでなく、教職員や保護者の感想からも、「自立」や「迷惑」について深く考える機会になったことがわかった。がんへの正しい理解と同時に、互いに支え合う関係づくりの大切さを再認識することができた。

<今後の取組及び課題> * 今後のがん教育の充実に向けての活用等

この機会に「がん教育推進のための教材」について知らせることができたので、今後はその活用について呼びかけると同時に、定期的に専門医の講演会を開催し、すべての生徒にがんについての正しい知識を習得させたい。